

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

### 【第18回】

#### 未来を拓く小布施子ども教室

長野県小布施町立栗ガ丘小学校長 吉越 真一

小布施町は人口1万2千人程度の小さな町です。「栗と北斎と花の町」として、全国各地から多くの観光客を迎えています。「小布施の子どもたちのためなら」という、地域の方々の熱い思いのお陰で、小布施子ども教室も地域のさまざまな人と触れあうことができる場となっています。

校内の空き教室に設置された子ども教室の玄関を見下ろすことができる校長室の窓から、学校での生活を終えた子どもたちが、「ただいま」と言いながら子ども教室に入っていき姿や、夕方、お迎えに来たお母さんと手をつなぎながら、楽しそうに家路につく姿を見ることができます。また、スタッフの方々に「今日は、Aさんと一緒にグラウンドでバドミントンをやるんだよ」と話す弾んだ声も、お母さんに「子ども教室の畑でとれたイチゴを食べたら、美味しかったよ」と語る声も聞くことができます。親子で、それぞれが顔を見つめあいながら、学校や子ども教室での出来事を語り合う様子から、子どもたち一人一人にとって、「子ども教室で楽しい活動をしたのだらうな」或いは「充実した一日で満足しただらうな」という満足感や充実感も読み取ることもできます。

農業体験・野外活動・ボランティア等の活動を多く取り入れ、遊びや体験活動を通して、子どもたちにとって「楽しさいっぱい」「友だちいっぱい」という魅力的な場と時間が保障された子ども教室となっています。町が進める「うるおいのある美しい町づくり」を今後も維持し、発展させるためには次代を担う子どもたちの育成が必要不可欠です。子ども教室のスタッフと本校職員とが、「未来の<sup>おぶせびと</sup>小布施人を育む」ことを共通目標に、互いに情報や方策の共有化を図りながら、共に協力して「未来の小布施人」を育てるための連携をさらに深めていきたいと考えています。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第112号に掲載)